



## 20年後のかずら橋に 苗木づくり体験

かずら橋の材料となるシラクチカズラの苗木づくり体験が7月19日、ふれあい公園で行われ、西祖谷中学校の生徒16名と櫟生小学校・吾橋小学校の1・2年生4名が参加しました。祖谷のかずら橋架け替え資材確保実行委員会のメンバーに教わりながら、約20センチにカットした約300本のさし木の先端に発根促進剤を塗り、プランターに植えました。苗木は根が出たら1本ずつ鉢に植え替え、5年後には東祖谷の国有林に植え替えられて約20年後にかずら橋の材料として活用される予定です。

## 夏休みに植物標本作りに挑戦

自然や科学の魅力を知ってもらおうと7月28日、サイエンスサマースクールが辻小学校で開催され、三好郡市の小学生や保護者約100人が参加しました。午前中には植物を採集し新聞紙を使って標本作りに挑戦。子どもたちは図鑑で名前を調べたり、講師に相談したりして摘み取った植物を標本にしました。辻小学校の山下颯斗君は、「今年で2回目の参加。いろいろな植物を見つけることができて楽しかった」と話しました。午後からは昆虫についての講義もあり、参加者は自然や科学の素晴らしさに触れました。



## 食育ツアーで郷土料理の魅力を体感

地域・家庭・学校が連携し、食を通じて郷土愛を育もうと7月29日、地域食育ツアーがかずら橋夢舞台で行われ、辻小学校の児童や保護者、関係者ら63人が参加しました。県西部総合県民局の滝川恵津子さんによる「みんなで学ぼう 食の大切さ」と題した講演の後、児童らは祖谷の名物「でこまわし」作りに挑戦。串に下処理されたこんにゃく、とうふ、じゃがいもの順番で刺し、最後にお味噌を塗って完成。鹿肉の竜田揚げやごじゃにしめなど地元ならではの食材を使ったお弁当と一緒においしくいただき、五感で郷土料理の魅力を体感していました。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりな情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。  
三好市役所 秘書人事課 ☎ 72-7646

## 起業に向け創業計画を発表 かぎられた命を精一杯生きて 女性の新しい働き方を考えよう



創業に必要な基礎知識を学んでもらおうと7月31日、三好市創業セミナーが市役所分庁舎で行われました。4回目を迎えた今回、参加者らが創業への思いや課題などについて発表。5月にニュージランドから帰国し、カフェの開業を予定している池田町の牛尾幸代さんは、セミナーを終えて「収支計画などを考えることによって課題が見つかることができた。また、起業を考えている方々とのつながりができてよかった」と語り、起業への思いを新たにしました。今後、創業に向け実践講座の開催も予定されています。



「いのちの振り子を揺らして」をテーマに7月26日、三好市民大学講座・三好市青少年育成市民会議講演会が池田総合体育館で開催されました。講師を務めた浄土真宗本願寺派・教恩寺第六世住職兼シンガーソングライターのやなせななさんは、「人はそれぞれ苦しみを抱えている。人は孤独だからこそ助け合うことができる」と訴えかけました。また、命の尊さを題材とした曲「おやすみ」や「なないろの朝に」など力強くも優しい歌声が披露されると、涙を流す参加者もいました。



場所や環境にとらわれない女性ならではの新しい働き方を考えようと7月20日、にし阿波ワークスタイル体験会が池田総合体育館で行われ9人が参加しました。NPO法人チルドリン徳島のメンバーが講師となり、「子育て期に合った働き方」をテーマに行われたワークショップでは、参加者から「子どもとの時間を大切にしながら仕事がしたい」「自分で仕事をすると会社の規則などがなく、できることもたくさんある」「家事や子育ての経験を生かしたい」など多くの意見が出ていました。

## スリル満点 祖谷ふれあい公園に新たな観光スポットが誕生

川の魅力と祖谷の自然を楽しんでもらおうと7月29日、自然共生型アウトドアパーク「フォレストアドベンチャー祖谷」が西祖谷の祖谷ふれあい公園にオープンしました。森の中に張ったワイヤーを滑車で滑り降りる「ジップスライド」など5つのコースがあり、特に祖谷川をまたぐ長さ360メートルを超えるジップスライドはスリル満点です。体験に訪れたホテルかずら橋の谷口栄司さんは「祖谷の新たな観光スポットとしてSNSなどを活用し情報発信していきたい」と語り、約2時間のコースを満喫していました。



## 台湾の大学生と下名小の児童が交流

国際交流を図ろうと7月18日、大歩危峡まんなかのホテルとレストランに留学中の台湾の大学生との交流会が下名小学校で行われました。初めに児童たちが、学校で取り組んでいる「妖怪マルシェ」や「妖怪アプリ」などを紹介。次に、台湾の大学生6人が、台湾の言葉や文化などを説明しました。食べ物の紹介では、台湾のポテトチップスやグミなどのお菓子が手渡され、初めて食べる台湾のお菓子を児童らは楽しみながら味わいました。また、大学生と一緒に恋ダンスを踊ったり、給食を食べたりして交流を深めていました。